

# 日刊 動労千葉

79.5.27  
No.全国版15

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二五八〇九・(公衆)〇三三二七二〇七

# 公労委のあついで 団交開始!

# 動労千葉

## 暴力集団の破産＝ペテン的「本部」千葉局交渉

全国の動労組合員の皆さん！ 動労千葉は「本部」暴力集団のあらゆる組織破壊攻撃をはね返し、着実に組織体制を強化しつつあります。「本部」暴力集団からの「55・10」への「第二の貨物安定宣言」による協力をチラつかせた圧力と、動労千葉との実質的団交なしには首都圏全体の国電の運行も含めて日常の業務がマヒしてしまふという現実の前に板バサミとなっていた国鉄当局は五月一六日、公労委・関東地方調停委員会のあっせんが出されたことを理由に、動労千葉に対して団交を要請してきました。われわれは「本部」暴力集団の「社会的に認知されない動労千葉」というデマ宣伝が完全に破産したことを確認し、この間不当にも動労千葉との正式団交に応じなかつた千鉄当局の責任を追及し、陳謝させた上で団交に臨むことを決定し、五月一八日から団交を開始しました。

### 動労千葉＝職場と密着した団交を連日展開!

この事態に仰天した「本部」暴力集団は、千葉管内に何の実体もないことを自己暴露する形で、労働法上何の根拠もない「小屋原交渉団」をデッチ上げ、千葉鉄局との交渉に介入してきました。しかし、当日五〇〇人も青年部員を全国からカキ集め、五人の「交渉団」を千葉局へ送り込むという組合費のムダ使いでゴリ押ししても、その集約内容を実践する組合員がひとりもないという「交渉」は、まさに消耗以外の何ものでもありませんでした。

これに比べて、動労千葉は五月一八日の「一九七九年度四月期昇給」を皮切りに、五月一九、二二日に総武線・津田沼～千葉間の「二線高架切換計画」、五月二四日に「一九七九年度夏季輸送交渉」と、必要に応じて各支部代表者も参加する中での団交を開催し、その集約内容に基づく現場協議も含め、職場生産点に立脚した闘いとして、職場を守り労働条件を獲得する団体交渉を積み重ねています。

### 「小屋原交渉団」＝料亭でドンチャン騒ぎ!

「小屋原交渉団」は千葉の労働条件などは眼中になく「交渉をやった」という形式をとることによって「本部」のメンツを保つだけの目的しかないがゆえに、千葉管内の実情を何も知らず「千葉は三項八号の適用が少なすぎる」などとネボケたことを口走るだけで、実質的交渉は何もできないまま、当局提案をそのまま受け入れ一時間ほどで「交渉」を打ち切り、料亭に席を移し、芸者を待たせた三時間余の「接待」を受け、ドンチャン騒

ぎをして帰ったのです。

### デマ宣伝の破産＝「千葉地本再建情報」No.12

しかも、無責任なことに「千葉地本再建情報」はこのデータラメな交渉について、「本部」と千葉局の交渉はじまる！の大見出しで当局提案をそのまま羅列したデマ宣伝を行っています。そもそも「本部」と千葉局が交渉することが、この間の「本部」暴力集団の動労千葉破壊策動の破産を示す以外のなにものでもないのです。千葉の地に「動労本部」の言うことを聞く組合員がひとりもないという事実をこれ程鮮明に示しているものが他にありません。

さらにハレンチにも「従来の中野一味のデータラメな交渉により、不利益をこうむっている方々で、現支部執行部が中野一味に組み立て、支部組合員の利益を守ろうとしない場合」直接「本部」へ相談しろと呼びかけています。まさに笑止のサタです。

動労千葉は「小屋原交渉団」が思わず言ってしまったように「三項八号」が他管内に比べて極端に少なく「抜擢」資金を全て「是正」にふりむけさせる力関係を、この間の闘いの中で作りあげているのです。従って、デマ情報のおタメゴカシに依るような組合員がいるわけもなく、現時点における組合員の要望は全て支部を通して動労千葉に集中されており、各支部の代表者も加わって交渉が行われているのです。

### 動労改革へ共に奮闘しよう!

動労千葉は着実に、一步一步前進しています。動労運動の改革へ向けて、ともに奮闘しようではありませんか。

